

第4回 Endowment Summit

- 研究大学におけるエンダウメント構築の意義と展望 -

社会的ニーズにおける大学の研究シーズの事業化と社会実装が一層求められています。第4回エンダウメントサミットでは、その課題を共有する「場」として、また、その課題解決の鍵となるこれからの新たな原資となる「寄付」と大学の財務経営力の強靭性を踏まえた「資産運用」に着目し、自律型大学基金構築のメカニズムについて皆さまと共に議論を深めてまいります。

- 開催日時 令和3年12月8日(水) 10:00~11:50
- 開催方法 Web会議システム Zoom ウェビナーによるオンライン開催
- 主催 国立大学法人筑波大学
- 企画運営 株式会社IBJ
- プログラム

タイムライン	プログラム
10:00~10:10 (10分)	開会挨拶 永田 恭介 (筑波大学学長、国立大学協会会長) 趣 旨：『研究教育の向上に向けた資金調達・運用』
10:10~10:40 (30分)	基調講演 講 師：甘利 明氏 (衆議院議員) テーマ：『科学技術革新大国復活に向けて～「成長」における大学の役割、社会における経営体としての大学は如何にあるべきか～』
10:40~11:40 (60分)	パネルディスカッション テーマ：『エンダウメントは大学に何をもたらすか』 話題提供：森田 正信氏 (文部科学省大臣官房審議官 (高等教育局及び科学技術政策連携担当)) 『大学の財務基盤、ガバナンス、研究力の強化について』 登壇者：森田 正信氏 (文部科学省大臣官房審議官 (高等教育局及び科学技術政策連携担当)) 中山 俊憲氏 (千葉大学学長) モデレーター：永田 恭介 (筑波大学学長、国立大学協会会長)
11:40~11:45 (5分)	総評：『大学基金 (エンダウメント) の意義』 河田 梯一氏 (一般社団法人大学基金推進機構理事長)
11:45~11:50 (5分)	閉会挨拶 金保 安則 (筑波大学副学長・理事 (産学連携担当))

進行役：松田裕視 (株式会社IBJ 代表取締役)

※当プログラムは予告なく変更することがございます。予めご了承ください。